

平成 26 年度 第 2 回図書館協議会会議 会議録

平成 27 年 3 月 13 日（金）13：30～15：00

会 場：図書館本館 会議室

出席者：（委 員） 会長、委員 5 名

（事務局） 図書館長・図書課長・総務担当主査・学校図書担当主査
奉仕担当主査、奉仕担当主任

1. 開 会

2. 挨拶

3. 報 告

① 図書館利用者アンケート調査結果について（配付資料に従い事務局説明）

○ 質疑・意見交換（要旨）

会 長 新刊本は、図書館で年間何冊購入していますか。また、新刊本で、人気のある本の利用者への対応をどのようにしていますか。

事務局 新刊本の購入は年間 1 万冊程度です。現在、図書館では貸出冊数を無制限にしていることもあり、新刊が入ると同時に貸出されることが多く、利用者の方が読みたい本が棚にないという場合もよく見られます。そのようなことから、利用者の方には予約サービスを利用させていただきよう対応させていただいておりますが、利用者の皆さんにもこの予約サービスが浸透しており、利用いただいております。

会 長 先日、新聞で高齢者等宅配サービスの実施について載っていましたが、利用者からの反応・感触などがありましたか。

事務局 高齢者等宅配サービスの実施については、平成 25 年の 12 月から本実施に入り、平成 26 年度においては周知方法や利用方法を検討・改善し、2 月末現在で、延べ 29 件の申し込みがあり、133 冊の貸出をしております。貸出のジャンルでは、利用者が図書館司書に相談をしてもらい、大活字本や現在の流行りの本を予約・利用いただいております。

会 長 貸出の期間は 3 週間ですか？

事務局 1 回に 5 冊で貸出期間は 3 週間です。

A 委員 子どもの本の分類について、図書館本館では、児童書が「あいうえお」順に、分館では出版社別になっていることから、以前にこれを統一しては、という意見もありましたが。

事務局 統一した並べ方をするのが望ましいですが、現在、分館の閲覧室は狭いという問題を抱え

ており、本館と同じようにするには、むずかしいと考えております。

A 委員 特に他と公共図書館と比較して、利用しにくいというクレームはないですか。

事務局 時々、そのようなお話しはいただきますが、図書館では、出版社別に置くケースは珍しく、一般的には分類番号・著作者別というのが標準になっています。学校図書館もそのように並んでいるところが多いです。

事務局 年代別で、それぞれの立場から、本の探し方やイメージがあると思いますが、今後の本館、分館のあり方などを含めて、勉強させていただきたいと思います。

B 委員 開館時間を延長してほしいという意見がありますが、検討する予定は。

事務局 窓口業務は委託方式となっております、経費的なこともあり、今のところ現在の開館時間で図書館運営を進めたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

B 委員 千歳市の図書館では、年中無休となっておりますが、同じにできないのですか。

事務局 市の施設、社会教育施設等、色々なところで無休開館の要望の高まりがあれば、検討して行く方向になると考えますが、運営の方法や予算の問題があり、その中で図書館だけが全館毎日オープンすることはむずかしいと考えますので、ご理解をいただきたいと思います。

C 委員 老人医療の本を 1 ヶ所に設置してほしい、道内の医療機関を紹介するパンフをおいてほしいなどの要望があるようですが、現在図書館で 1 ヶ所にまとめる場所はあるのですか。

事務局 図書館では、それぞれの図書は分類法により並べており、老人医療系ですと「医療」の分類で配架しております。医療系の本は、その病気ごとに並んでいることから、老人医療だけを 1 ヶ所に設置することはむずかしいですが、毎月 1 回図書館で特集コーナーを設置しており、その中で老人医療系の特集展示を行うことは可能ですので、利用者からの要望の高い図書など特集を組んでまいりたいと思います。

②平成 27 年度図書館関連予算について（配付資料に従い事務局説明）

○質疑・意見交換（要旨）

A 委員 学校図書館への「子どもの読書活動を支える寄附制度」の、市民から寄附額の本年度の実績額はどれぐらいありましたか。

事務局 平成 26 年度実績で、104 万円です。寄附の件数は 7 件で、この制度により寄附の倍額 208 万円が学校図書館の図書購入予算として各学校に配分されています。

A 委員 寄附者の個人、団体の内訳はどのようになっていますか。

事務局 内訳は、個人 1 件、団体 6 件です。

A 委員 図書購入予算が減額される中、雑誌のところでスポンサー制度を取り入れるという話でしたが、民間の企業に働きかけ次第では、図書購入の寄附の話が出てくるような、一定の寄附申出の効果がえられるものと思いますが。

事務局 雑誌のスポンサー制度では、色々な企業にお願い、働きかけをしていかなければならないと思いますが、通常の寄附となると積極的に行きにくい部分がありますので、寄附の制度を紹介する程度になるかと思います。学校図書館の図書購入予算に関しては、平成 26 年度並の予算を確保しておりますが、寄附制度も活用しながら、学校図書館の読書環境を維持していきたいと思います。

③読書活動推進事業の実施について（配付資料に従い事務局説明）

○質疑・意見交換（要旨）

会 長 NHKの教育番組で、地方の図書館の実情、図書館の先進的な活動の実例として恵庭の図書館が放映されていましたが。

事務局 全国図書館大会で先進的な事例ということで、恵庭市だけではなくありませんが、他の先進的な事例を集約して放映されたものです。恵庭市がブックスタート始めて 14 年になることから、その後の読書活動の経過や、「まちじゅう図書館」のお話も紹介していただきまして、大変光栄に思っているところです。

④雑誌スポンサー制度の導入について（配付資料に従い事務局説明）

○質疑・意見交換（要旨）

A 委員 現在、図書館では雑誌は何種類ありますか。

事務局 138 タイトルあります。本館・分館の 3 館で、それぞれ置いている場合もありますので、タイトルで雑誌自体は 180 タイトル配置しております。

A 委員 雑誌は、定期購入ですか。

事務局 月刊誌、週刊誌とありますが、1 年間分を図書館で、指定する業者に納入してもらいます。

A 委員 新聞をスポンサー制度に入れなかった理由はありますか。

事務局 スポンサーの周知掲載するために、記事が見にくくなることや、スポンサー名を配置する場所が無いことでむずかしいと考えます。

会 長 こういう雑誌スポンサー制度を取り入れようとしたのは、ある程度の業者の感触があったからですか。また、他でこの制度を取り入れているから恵庭でも取り入れることになったのか。

事務局 図書予算が少なくなっている部分では、最低限の予算を確保させていただきたいことから、地域の方にもスポンサーとしてお手伝いいただけないかと考えましたし、近隣で実施しているところも参考にさせていただきながら、さらには協力をいただくための努力をして行かなくてはならないと思っております。

会 長 図書館が雑誌などの購入を通して、雇用の活性化や求人の情報センターとしてのひとつの役割も考え、市民に対して色々な目配りしておくのも良いかと思います。

事務局 図書館では、ハローワークの求人情報を利用者に提供するとともに、インターネットからのレファレンス事業として、「日経テレコン」と契約し、雑誌記事検索や新聞記事検索などのビジネス支援も行っています。

C委員 雑誌スポンサー制度は、これから導入ということですが、イメージとして雑誌のカバーに広告が入るようになっていますが、ここに会社の広告が入るのか、単に会社のロゴが入るだけなのですか。

事務局 広告というよりは、このスポンサー（企業）は、このような社会貢献をしているというお知らせを入れるようなイメージで考えています。

C委員 社会貢献というのは、この雑誌を寄贈したという社会貢献ですか。

事務局 図書館としては、広告というより社会貢献として受入れし、企業などの概要を市民のみなさんに紹介させていただきたいと考えております。

C委員 スポンサー制度の申込後の解約は、自動延長となっているが、事前に図書館からのお知らせはするのですか。

事務局 2ヶ月前にはお知らせします。

⑤先進地視察報告について（映像資料に従い事務局説明）

○質疑・意見交換（要旨）

A委員 先日の新聞報道で、柏地区のコミュニティ施設の中に「本の回廊」ができるとありましたが、「黄金ふれあいセンター」のブックステーションと同じ位置づけになるのですか。

事務局 柏地区の「本の回廊」につきましては、図書館から除籍本を提供いたしますが、主に地域の方たちの寄贈本を本棚に配置することと、本の貸出はいたしません。

会 長 先進地視察のブックステーションについては、効率性が良く、無駄のない運営をしていると感じましたが、成算的（成功）な感じを受けましたか。

事務局 高槻駅周辺の方、通勤の方には、気軽に本が借りられる施設があるということ、開館の

時間が長いということでは、喜ばれていると感じました。

4、その他・情報交換

D 委員 恵庭市は、「読書のまち」として読書推進計画を策定してところですが、図書館として市民に対して全員に図書館利用者登録をしてもらうというような取り組みを視野に考えているのか。例えば、子どもの出生の機会にカードを与えとか、小学校に入学したら与えとか。

事務局 市民全員が利用者登録をしてもらう形では、意識して動いていないのが実態ですが、今後、図書館における読書推進事業の中の「本との出会いをつなげていく」という形の場面で、全員の利用者カード作成という意識を持って事業展開してまいります。

D 委員 個人宅配システムをうまく進めるためにも利用者カード登録は重要だと思う。

事務局 高齢者宅配サービスにおいても、老人クラブの定例会へ出向き、事業内容の説明の際、利用者カードを作っていただいた方もいることから、利用者登録については特に周知してまいります。

また、次回の図書館システム更新の際には、国の「マイナンバー制度」が導入され、総務省の構想として図書館の利用者カード機能を持たせるという案も出ているので、安全に利用できるシステムであれば、ぜひ図書館としても採り入れたいと考えています。

A 委員 小学校で児童が登録しているカードは、市立図書館の利用カードの代わりになるのか。

事務局 学校図書館のカードは、学校独自で別に作っているカードになりますので、図書館では使用できません。

A 委員 小学校入学時に、学校の利用カードに併せて図書館利用カードを作成すれば良いと思うが。

事務局 「ブックスタート」事業のときにカード作成をお勧めし、かなりの確率で、すでに持っている児童が多いと思われます。申請があれば、0歳児からカードを作ることができます。

C 委員 転入してきた方に対しての図書館カード作成のお知らせを市民課の転入窓口に表示をしようか。

事務局 市民課の窓口にも、電光掲示板が新しく導入されまして、図書カード作成について案内をしています。

C 委員 まちじゅう図書館に関してですが、登録店舗が増えてきていると思いますが、その後、まちじゅう図書館店舗に対して、参加したことに関するアンケート実施はしていますか。

事務局 特にアンケートは実施していません。

C委員 これからやってみたいと思う方に対して、既存のまちじゅう図書館の経験談が聞けたら良いと思うし、その声を市民の皆さんに届けてもらいたいと思います。

事務局 調整させていただきたいと思います。

E委員 恵庭駅に空中歩道やビルができたり、人の流れも変わってくると思いますが、そのような環境変化の中で、ブックステーションができたり、図書館の宣伝ができるというか、そのようなことも視野に入れていけば、さらにまちが発展して行けるのかなと思います。

事務局 恵庭駅に空中歩道やビル施設に関しては、経済部が担当すると思いますが、まだ詳細については決定されてないことから、このご意見を参考にさせていただきたいと思います。

会 長 26年度図書館要覧に、不明本が284冊とありますが、前年と比較して減っている要因は。

事務局 284冊は、割合としては全体所蔵数の0.09%になります。前年の不明本が359冊ですが、窓口の取扱い方法の工夫や、利用者のモラルの向上により減少したと捉えています。

会 長 返却本の中には、破られたり、書き込みしたりとかのケースがありますか。

事務局 本の破損やいたずらは、窓口業務の中で色々な対策もとっておりますので、以前から見ると、かなり減ってきている状況です。

※その他事務局から報告

事務局 現在、市役所庁舎市民ロビーに本を50冊ほど置いて、図書館恵庭分館とまちじゅう図書館のご案内もさせていただいております。本年4月からは、市民会館のホワイエにも本を置く予定で、他の公共施設にも少しずつ本を設置し、目で見える読書のまち、本のまちという読書環境を推進してまいります。

5. 閉 会

(15時00分 終了)